

第200回日本肺癌学会関東支部学術集会 採択一覧(演題番号順)

セッション名	時間	登録番号	演題番号	演者氏名	演題名
化学療法(EGFR)	8:40～9:15	00010	1	鮫島 健太	稀なEGFR遺伝子変異(E709-T710>D)陽性肺腺癌にAfatinibが有効であった一例
化学療法(EGFR)	8:40～9:15	00016	2	高橋 秀徳	オンメルチニブ治療中に薬剤性肺障害を呈した粟粒肺内転移を伴う高齢者肺癌の1例
化学療法(EGFR)	8:40～9:15	00020	3	佐藤 怜奈	EGFR遺伝子変異陽性の進行肺腺癌の治療中にT790M変異を経て小細胞癌へ形質転換した一例
化学療法(EGFR)	8:40～9:15	00022	4	森 雅行	びまん性多発骨転移をきたすEGFR陽性肺癌患者へのデノスマブ1回投与後に、重篤な低カルシウム血症が遷延し長期加療が必要であった1例
化学療法(EGFR)	8:40～9:15	00049	5	松井 元介	アフタニブを投与したEGFR M277E遺伝子変異陽性肺扁平上皮癌の1例
外科治療	10:10～10:52	00017	6	切明 大約	気管支形成を伴う右肺上葉切除後右下葉肺癌に対してロボット支援下残右肺下葉切除術を施行した1例
外科治療	10:10～10:52	00024	7	中山 和真	片肺全摘後の腺様囊胞癌肺内転移再発に対し経皮的凍結融解壊死療法を施行した1例
外科治療	10:10～10:52	00028	8	田澤 勝幸	低肺機能患者の同側同時多発肺扁平上皮癌に対し舌区切除と底区病変SBRTを選択した1例
外科治療	10:10～10:52	00047	9	大坪 莞爾	心室内血管処理を要した右中葉切除後の異時多発右上葉肺癌の一例
外科治療	10:10～10:52	00055	10	徳光 真毅	間質性肺炎合併肺癌に対する縮小手術後、切除断端陽性に対して残肺葉切除を施行した一例
外科治療	10:10～10:52	00057	11	小林 敬祐	Osler-Rendu-Weber病に合併した肺動静脈瘻コイル塞栓治療経過中に発見された右下葉肺癌に対して手術を施行した1例
病理	11:00～11:35	00008	12	鳥矢 和浩	肺囊胞壁から発症した上皮性悪性細胞が肉腫へ形質転換したと考えられた肺癌肉腫の1例
病理	11:00～11:35	00018	13	松原 泰輔	浸潤性粘液性腺癌に特徴的な紡錘形細胞配列を伴う、組織診断及びその成り立ち解釈の難しい腫瘍の一例
病理	11:00～11:35	00029	14	鈴木 健浩	右肺上葉切除後7年の経過で緩徐に増大傾向を認めた、異型重層扁平上皮を伴う線維化の1例
病理	11:00～11:35	00033	15	植松 靖文	骨肉腫に類似する組織像を呈した巨大右肺門部腫瘍の1例
病理	11:00～11:35	00043	16	柴 綾	Lambert-Eaton症候群症状で死亡し、剖検で病理学的完全奏効を確認した小細胞肺癌の一例
稀な腫瘍	11:40～12:22	00012	17	錦木 結衣	FDG異常集積を認めた肺内神経鞘腫の一切除例
稀な腫瘍	11:40～12:22	00026	18	大谷 祐介	術前に鑑別が困難であった肺靱帯内バラガングリオーマの一切除例
稀な腫瘍	11:40～12:22	00030	19	清水 裕介	肺原発明細胞腫の一例
稀な腫瘍	11:40～12:22	00037	20	河谷 菜津子	肺内孤立性線維性腫瘍の一例
稀な腫瘍	11:40～12:22	00035	21	種井 沙希	早期肺腺癌との鑑別が困難であったPeribronchiolar Metaplasiaの1切除例
稀な腫瘍	11:40～12:22	00046	22	林 雅子	縦隔原発炎症性筋線維芽細胞腫瘍の1切除例
リンパ腫	13:45～14:20	00004	23	大竹 直	左肺癌全摘後の長期経過中に心膜に生じた腫瘍関連リンパ腫の一例
リンパ腫	13:45～14:20	00007	24	祖父江 晃向	術前に得られた局所麻酔下胸腔鏡所見を参考に、肺切除を行った超高齢者の肺悪性リンパ腫の1例
リンパ腫	13:45～14:20	00023	25	長瀬 和可子	難治性の右上葉肺化膿症を併発し、診断に難渋した古典的Hodgkinリンパ腫の1切除例
リンパ腫	13:45～14:20	00032	26	平井 有紀	肺癌との鑑別が難渋した肺原発濾胞性リンパ腫の1切除例
リンパ腫	13:45～14:20	00048	27	櫻井 幹生	胸腺に発生したMALT lymphomaの一例
化学療法/放射線療法	15:20～15:48	00006	28	芹澤 徹	ガンマナイフ治療を施行した脳転移症例における小細胞肺癌GPAの検証
化学療法/放射線療法	15:20～15:48	00027	29	早川 和重	局所進行非小細胞肺癌(NSCLC)に対する化学放射線療法後の照射野外再発が免疫チェックポイント阻害薬(ICI)で消退した2症例
化学療法/放射線療法	15:20～15:48	00050	30	中井 直樹	解剖学的切除可能肺癌に対しKN-671レジメン導入も、PS不良となり根治的放射線治療に移行した一例
化学療法/放射線療法	15:20～15:48	00052	31	後藤 英介	切除不能Ⅲ期肺扁平上皮癌に対する根治的化学放射線療法及びDurvalumabによる地固め療法後の右副腎転移に対して外科的治療を行った1例
手術(サルベージ)	15:50～16:25	00009	32	青島 宏枝	免疫チェックポイント阻害薬治療後にサルベージ手術を施行した肺腺癌ステージIVBの一例
手術(サルベージ)	15:50～16:25	00011	33	中山 菱枝子	オンメルチニブ治療中のoligoprogressionに対しサルベージ手術施行し、扁平上皮癌への転化を確認したIV期EGFR変異陽性肺腺癌の1例
手術(サルベージ)	15:50～16:25	00039	34	栗原 秀輔	術前導入療法により胸壁浸潤が離開したと推察される胸壁浸潤肺癌の一例
手術(サルベージ)	15:50～16:25	00040	35	蒔田 采佳	サルベージ手術を施行したALK融合遺伝子陽性肺腺癌の1例
手術(サルベージ)	15:50～16:25	00042	36	矢崎 裕紀	肺癌と乳癌の重複癌に対しニボルマブ併用術前化学療法が奏功した一例
転移性肺腫瘍	16:30～17:12	00014	37	瀬崎 遼	右前縦隔腫瘍を疑った左肺癌縦隔リンパ節転移再発の1例
転移性肺腫瘍	16:30～17:12	00015	38	倉持 杏輔	下行結腸癌術後肺転移疑いの両側多発肺結節に対して化学療法施行後治療抵抗性の腫瘍を切除し、肝細胞癌肺転移疑いと診断した1例
転移性肺腫瘍	16:30～17:12	00019	39	齊藤 剛	免疫チェックポイント阻害剤併用の化学療法による局所効果により腸閉塞に至った小腸転移の一例
転移性肺腫瘍	16:30～17:12	00025	40	岡 直幸	多形癌成分のみのみが転移した混合型小細胞肺癌の1例
転移性肺腫瘍	16:30～17:12	00036	41	井上 航貴	多発性内分泌腫瘍1型経過観察中に発見された前縦隔腫瘍と隣腫瘍を合併した1例
転移性肺腫瘍	16:30～17:12	00038	42	猪ノ口 虎太	肝類上皮血管内皮腫肺転移に対し肺切除を施行し診断し得た1例
化学療法(EGFR以外)	11:00～11:49	00031	43	志村 征哉	進展型小細胞肺癌に対して免疫チェックポイント阻害薬(ICI)を投与し、病理解剖で粟粒結核が判明した一例
化学療法(EGFR以外)	11:00～11:49	00041	44	西原 麻里子	非キナーゼドメインに変異を有するHER2遺伝子変異陽性肺癌に対しトラスツマブデルクステカンが有効であった1例
化学療法(EGFR以外)	11:00～11:49	00044	45	舩井 嘉大	＜p>EGFR＜/p>変異陽性肺腺癌から多形癌様形質転換を示し、ベムプロリズマブが奏効した一例
化学療法(EGFR以外)	11:00～11:49	00045	46	葛西 瑞記	アテゾリズマブとベバシズマブ併用維持療法後に構音・嚥下障害を生じ、頭頸部領域に多発する免疫介在性筋炎を生じた1例
化学療法(EGFR以外)	11:00～11:49	00053	47	名和 日向子	副作用によりダブラフェニブ・トラメチニブ併用療法の継続が困難であった高齢者肺腺癌の2例
化学療法(EGFR以外)	11:00～11:49	00056	48	御所 健太郎	Invasive mucinous adenocarcinoma様のALK融合遺伝子変異陽性肺癌に対してロルラチニブが奏効した一例
化学療法(EGFR以外)	11:00～11:42	00058	49	伊東 謙	ニボルマブ＋イピリムマブ投与後に免疫性血小板減少症をきたした悪性胸膜中皮腫の一例
遺伝子診断	13:45～14:20	00005	50	田中 三千穂	コバス オンコマインで検出できず、FoundationOneでのみ診断できたEGFR変異陽性肺腺癌の一例
遺伝子診断	13:45～14:20	00013	51	高倉 佐知	CGP検査で検出できたKDEL2-RS1融合遺伝子変異陽性肺扁平上皮癌の一例
遺伝子診断	13:45～14:20	00021	52	柳原 章寿	肺粘表皮癌の1切除例
遺伝子診断	13:45～14:20	00051	53	高橋 亘	多発すりガラス状結節を呈する右中葉肺腺癌の術後再発の一例
遺伝子診断	13:45～14:20	00054	54	森川 成孝	急激な転帰を辿ったSMARCA2／SMARCA4発現が部分消失している肺原発多形癌の一例